

テーマ

鳥取県における訪問看護師のワーク・ライフ・バランス実態調査

研究者

鳥取看護大学 看護学部 看護学科 出石幸子

概要

本研究は、訪問看護師のWLBにおける実態調査を行い、課題を明らかにし、その支援策を検討することを目的とした。鳥取県の訪問看護ステーション37施設の管理者と訪問看護師を対象とし、日本看護協会の「看護職のWLBインデックス調査票(施設調査・職員調査)」を一部改変し、調査を行った。

研究内容

1. 質的研究

鳥取県内の訪問看護師15名(東部、中部、西部の各地域で2名ずつ)に、訪問看護の仕事を行う上での思いややりがい、働き続けるために大切にしていることなどについてインタビューを行う。

2. 量的研究

日本看護協会の「看護職のWLBインデックス調査票(施設調査・職員調査)」をもとに、1.で行った量的研究の結果を反映させた調査票を作成し、調査を行い、施設・職員の傾向を分析した。

1)調査内容

【施設調査】 施設概況(訪問看護師数、必要訪問看護師数、勤務形態、労働時間、離職率等)、女性の母性保護のための制度、育児・介護休業法に制定された育児支援制度、介護支援制度、労働時間および人的資源管理、有給休暇状況など

【職員調査】 属性(性別、年齢、経年数、子供の有無、介護の有無、雇用形態など) 職場や仕事への受け止めかた、育児・介護支援制度の仕組みなどの制度の有無と利用希望、キャリアアップなど

2)分析方法

【施設調査】【職員調査】の単純集計、クロス集計を行う。(SPSS Ver23)

本研究は、鳥取県環境学術研究等振興事業研究等振興事業(地域振興部門)の補助金で行っています。

応用分野

医療労働、看護職の勤務環境改善、在宅分野に勤務する看護職の勤務環境改善への応用

連絡先

鳥取看護大学 看護学部 看護学科 助教 出石 幸子
電話番号 0858-27-2800 電子メール sizuishi@ns.tcn.ac.jp